配偶者間 財産移轉

課稅方案

1998. 12. 30.

韓相國

Kipf 한국조세연구원

序 言

相續稅 贈與稅法 가
配偶者 贈與稅 .
1997 憲法裁判所 違憲 .
違憲

가 가 .
本 報告書 課稅問題

著者
, 富 가
富 富 가

本 報告書 本 院 韓相國 博士가 . 著者
本院 ,

安相淑 · 尹惠順 , 南美愛
沈在珍

本 報告書 著者 本 研究院 가

1998 12

韓國租稅研究員

院長 柳 一 鎬

目 次

第 1 章 序 論	1
第 1 節 序 論	1
第 2 節 現行 相續・贈與稅制 現況	2
第 2 章 配偶者間 財產移轉 課稅制度 變遷 問題點	8
第 1 節 相續・贈與稅制上 配偶者控除制度	8
第 2 節 離婚 財產分割制度	17
第 3 節 現行 配偶者間 財產移轉 課稅制度 問題點	29
第 3 章 主要國 配偶者間 財產移轉 課稅制度	48
第 1 節 主要國 配偶者控除制度	48
第 2 節 離婚 財產分割制度	56
第 4 章 配偶者間 財產移轉時 合理的 課稅方案	66
第 1 節 共有財產 ½ 超過 金額 贈與財產 推定課稅	66
第 2 節 稅法 配偶者 寄與分 計量化 贈與稅 課稅	69
第 5 章 結 論	75
參 考 文 獻	77

表 目 次

<表 1-1>	對		3
<表 1-2>	相續・贈與稅 對 內國稅比 推移		4
<表 1-3>			5
<表 1-4>			5
<表 1-5>	(1995)		6
<表 1-6>	(1995)		6
<表 1-7>	・ 不服請求		7
<表 2-1>	相續稅 控除額 推移		9
<表 2-2>			12
<表 2-3>	法定相續分 比率		15
< 2-4>			25
< 2-5>			26
< 2-6>			28
<表 2-7>	相續財產 分布現況		29
<表 2-8>	贈與稅 賦課 合當 見解 合當 見解 要約		39
<表 2-9>	各種控除 利用比率 控除額(1992)		42
<表 2-10>			44
<表 2-11>	相續財產 課稅現況(1995)		46
<表 3-1>	配偶者控除制度 國際 比較		55
<表 3-2>	가		65
<表 4 - 1>			74

[2-1]	가		30
[2-2]			45
[4-1]			67

第 1 章 序 論

第 1 節 序 論

「立法沿革」

1950

1952

富

1)

가

1990

1991

1 1

839 2 1

2).

贈與稅

가 가

가

相續稅 贈與稅法³⁾

가

(5 ~30)

(相贈法 第31條 第2項),

違憲

(, 97.10.30. 96 14)⁴⁾.

1) 配偶者

가

2) 843

3) 相贈法

4) 1998

同

(相贈法 31 2 , 同法 24 1)

, 1999 1 1

가 , 가
 , 違憲
 ,
 , 가
 가 . , 富 가
 가 가
 , 富
 ‘ 가 ,
 , 本稿
 本稿 5 章 . 1 2
 同 , 3 同
 , 4 2가
 , 5 .

第 2 節 現行 相續・贈與稅制 現況

本稿

. <表 1-1>

同

800萬円⁵⁾

1994

가

가

<表 1-1> 年度別 死亡者 對 課稅件數 比率 國際比較

(單位：%)

年 度	1990	1994
韓 國	0.97	0.99
日 本	5.85	5.35
臺 灣	2.90	7.67

- 資料：1. 統計廳(1995) 國稅廳 『國稅統計年譜』(1995)
 2. 大藏省(19964)
 3. 韓相國(1995)

2%

30萬NT\$(1)

가

3.0~3.5%(1994~1997)

2%

皆稅 가

()가

1980

5) 9600 1994 6400

가 1990 1% 1995
 1.81% . . 1980 96
 가 1988 1 , 1995 1 290
 (<表 1-2>). 1987 1992
 가 ,
 低評價 .

<表 1-2> 相續・贈與稅 對 內國稅比 推移

(單位：億 , %)

年 度	國 稅	相續・贈與稅		
			相續稅	贈與稅
1980	58,077	96 (0.17)	29 (0.05)	67 (0.12)
1985	118,764	464 (0.39)	178 (0.15)	286 (0.24)
1986	136,063	644 (0.47)	334 (0.25)	310 (0.23)
1987	163,437	697 (0.43)	327 (0.20)	370 (0.23)
1988	194,842	1,093 (0.56)	360 (0.18)	733 (0.38)
1989	212,341	1,430 (0.67)	395 (0.19)	1,035 (0.49)
1990	268,474	2,959 (1.11)	710 (0.26)	2,249 (0.84)
1991	303,198	3,262 (1.08)	1,044 (0.34)	2,218 (0.73)
1992	352,184	4,333 (1.23)	1,750 (0.50)	2,582 (0.73)
1993	392,606	6,672 (1.70)	3,463 (0.88)	3,208 (0.82)
1994	472,617	9,074 (1.92)	5,236 (1.11)	3,839 (0.81)
1995	567,745	10,294 (1.81)	6,057 (1.06)	4,237 (0.75)
1996	649,602	9,666 (1.49)	5,658 (0.87)	4,008 (0.62)
1997	699,277	11,612 (1.66)	6,047 (0.86)	5,565 (0.80)

: 1)

2) ()

資料： , 『

<表1-3> , 가 가 ,
가 .

<表 1-3>

(: ,)

		가					가	
1992	3,438	1,510,240	671,284	838,956	334,185	37,695	29,134	325,624
1993	2,291	2,196,649	683,219	1,513,430	691,053	76,658	61,655	676,050
1994	2,549	2,680,931	884,291	1,796,640	794,154	99,366	88,937	783,725
1995	3,464	3,300,717	1,241,930	2,058,787	890,074	92,025	82,918	880,967
1996	2,850	3,086,530	1,206,997	1,879,533	730,124	79,879	70,051	720,296
1997	2,805	3,651,648	1,511,464	2,140,184	812,349	141,569	108,747	779,527

資料 : , 『 』, .

<表 1-4>

(: ,)

		가	가	
1992	28,357	1,266,175	123,629	119,644
1993	23,630	1,117,118	239,842	129,559
1994	29,285	1,285,450	191,289	224,840
1995	35,555	1,748,354	223,023	405,772
1996	31,157	1,848,859	263,938	490,880
1997	34,150	3,206,427	1,377,397	940,095

資料 : , 『 』, .

<表1-4> , 가 ,
가 가 가 .

<表1-5> , 1995 3,464 8,811
. 가 1~5 50% 가

가 50 60% 가
3% 60%
中産層 가

<表 1-5> (1995)
(: , , %)

가	1	1~5	5~10	10~50	50	
	377 (10.9)	1,701 (49.1)	647 (18.7)	634 (18.3)	105 (3.0)	3,464 (100%)
	8 (0.1)	458 (5.2)	405 (4.6)	2,664 (30.2)	5,275 (59.9)	8,811 (100%)

資料 :

<表 1-6> , 1995 35,555
4,481 가 1 91% 가
가 1~5
36.6% 가 가 5 가 99%, 65.8%
不服提起件數가 不服提起件數
가 10%
審査請求 比率 13~18% , 20~23% (<表 1-7>).

<表 1-6> (1995)
(: 名, , %)

가	1	1~5	5~10	10	
	32,299 (90.8)	2,932 (8.4)	227 (0.6)	97 (0.2)	35,555 (100%)
	1,310 (29.2)	1,639 (36.6)	662 (14.8)	870 (19.4)	4,481 (100%)

資料 :

가 1997 1.66%
 가
 租稅抵抗
 가 行政訴訟

<表 1-7> 不服請求

(:)

1990	2,217	235(10.6)	4,206	747(17.8)	2,519	602(23.3)
1991	2,686	289(10.8)	5,319	877(16.5)	2,930	680(23.2)
1992	2,752	398(14.5)	6,468	1,064(16.5)	3,836	789(20.6)
1993	4,377	403 (9.2)	7,664	1,005(13.1)	3,871	817(21.1)
1994	3,469	353(10.2)	9,225	1,244(13.5)	3,997	771(19.3)
1995	4,408	638(14.5)	7,202	1,240(17.2)	4,039	872(21.6)
1996	4,344	545(12.5)	6,350	1,136(17.9)	4,244	868(20.5)
1997	4,644	479(10.3)	5,592	917(16.4)	3,750	784(20.9)

: () 가
 資料 : 『 』,

第 2 章 配偶者間 財產移轉

課稅制度 變遷 問題點

第 1 節 相續・贈與稅制上 配偶者控除制度

1. 配偶者控除制度 歷史的 變遷

相贈法上 ()

가

相贈法 1950 , 1960 6)

가 相贈法 1961

50萬 (5萬) 1/10 7),

1977 가 1980

2倍 , 가 . 1990

6) 1960 12 30 ;

11 1 : 國內 住所 者 死亡 相續 開始 國務院令
課稅價格 相續開始 當時 被相續人 配偶者 同居家族中 成
年 達 者, 60歲以上 老年者 不具廢疾者 各 1人 50萬 控
除 .

7) 가 가 , 生存家族 最低限 基礎控除
配偶者控除 .

<表 2-1> 相續稅 控除額 推移

(單位：萬)

年 度	基礎控除	配偶者	子女	未成年者	年老者	障礙者
1961	50	5	-	5	5	5
1968	150	50	-	20+5×B	20	20
1972	300	150	-	20+5×B	40	40
1975	600	500	-	30+10×B	60	60
1977	800	800	-	24×B	100	180
1980	800	1,600	-	24×B	100	180
1983	1,000	2,000	500	40×B	300	800
1989	1,000	4,000	1,000	100×B	1,000	1,000
1991	6,000	10,000+600×A	2,000	300×B	3,000	300×C
1994	10,000	10,000+1,200×A	2,000	300×B	3,000	300×C
1996	10,000	10,000+1,200×A	2,000	300×B	3,000	300×C
1997		D				
1998	-					

註：1. 1961 年基礎控除額 50萬，1960 年基礎控除額 150萬，1961 年基礎控除額 300萬，1968 年基礎控除額 600萬，1972 年基礎控除額 800萬，1975 年基礎控除額 800萬，1977 年基礎控除額 1,000萬，1980 年基礎控除額 1,000萬，1983 年基礎控除額 1,000萬，1989 年基礎控除額 6,000萬，1991 年基礎控除額 10,000萬，1994 年基礎控除額 10,000萬，1996 年基礎控除額 10,000萬，1997 年基礎控除額 10,000萬。

2. 配偶者控除欄 A 配偶者 1 人，1961 年 5 萬，1968 年 50 萬，1972 年 150 萬，1975 年 500 萬，1977 年 800 萬，1980 年 1,600 萬，1983 年 2,000 萬，1989 年 4,000 萬，1991 年 10,000 萬+600×A，1994 年 10,000 萬+1,200×A，1996 年 10,000 萬+1,200×A，1997 年 D。

3. 未成年者控除欄 B 20 萬，1961 年 5 萬，1968 年 20 萬，1972 年 20 萬，1975 年 30 萬，1977 年 24 萬，1980 年 24 萬，1983 年 40 萬，1989 年 100 萬，1991 年 300 萬，1994 年 300 萬，1996 年 300 萬，1997 年 300 萬。

4. 障礙者控除欄 C 75 萬，1961 年 5 萬，1968 年 20 萬，1972 年 40 萬，1975 年 60 萬，1977 年 100 萬，1980 年 100 萬，1983 年 300 萬，1989 年 1,000 萬，1991 年 3,000 萬，1994 年 3,000 萬，1996 年 3,000 萬，1997 年 3,000 萬。

5. 配偶者控除欄 D 配偶者 1 人，1961 年 5 萬，1968 年 50 萬，1972 年 150 萬，1975 年 500 萬，1977 年 800 萬，1980 年 1,600 萬，1983 年 2,000 萬，1989 年 4,000 萬，1991 年 10,000 萬+600×A，1994 年 10,000 萬+1,200×A，1996 年 10,000 萬+1,200×A，1997 年 D。

資料：財務部(財經院)，『相續稅法沿革輯』 『改正 稅法』

가 가 30億
 , 5億 5 (<表 2-1>).
 <表 2-1>

1990

. 1991

가

8)

가

가

600

1994

1,200

가

1994

1,200

가

가

가 1/2

9).

1996

가

가

①

① 1 + (× 1,200)

② 가 「 가 」 , 가

가

, 10

10

8) 가 結婚

婚姻 .

9) 崔明根(1990), p.200.

1996 가 .
가 (10)

1997 가
가 (30) , 5 5

①
父(祖父) 子(孫子)
1 1 ②
③

가가 富 가

가
<表 2-2>

가 가
1968 50萬 1/3
가 1972 150萬 가
1990

가 1991 100萬 同 가
1994 300萬 , 1996 500萬
가 1991 1,500萬

1994 3,000萬 , 1996 5,000萬
 5億 , 5
 5億
 , 가
 가
 가
 ()

<表 2-2>

(: 萬)

1968	50	-	50
1972	150	100	150
1991	1,500	500	1,500+(100×)
1994	3,000(1,500)	500	3,000+(300×)
1996	3,000(1,500)	500	5,000+(500×)
1998	①	: 5	
	②	· (가) : 3	
	③	가 : 1 5	
	④	· : 5	
	⑤	: 0	

1990 土地

10) 가 가 가

10) 相續財産 15%, 其他資産 3~5% 不動産 相續財産 85~90%, 金融資産 7~ (1990~1997).

· 11),
12).
民法

2.

가 가 가
가 가 가
(30) , 5 5 .

13) 6
民法 第1009條
가 가 (30) (相贈法 第19條).
, 가
5 가
가 1009
5 가
가 가 . 가

가
1/2 (15) 가

11) (1990).

12) (1993)

13) 1 (相贈令 第17條).

1.

2.

가 가 .
 2 1 15 15 .
 가 5
 , 가 5
 .
 가
 5 5 14), 5
 5 5 15).

. 민법 1009 法定相續分

① 同順位 . 男女 子女

均等 .

② 가

5 가 ,

5 가 .

<表 2-3> .

. 1009
 相贈法 19 1 , 가
 가

3

「1.5/4.5」가 .

5

14) 19-0...1
 15) 46014-1106, 1997. 5. 6.

5 가
 5億
 5 가
 (所得稅法 第97條 第4項).

<表 2-3> 法定相續分 比率

		1990. 12. 31.		1991. 1. 1.	
가	• .	1.5	1/2	1	2/5
		1.5	1/2	1.5	3/5
	• . ()	1.5	3/8	1	2/7
		1	2/8	1	2/7
		1.5	3/8	1.5	3/7
	• . (가) 2 , 2	1.5	6/21	1	2/11
		0.25	1/21	1	2/11
		2 1	4/21	2 1	2/11
		2 1	4/21	2 1	2/11
		1.5	6/21	1.5	3/11
	•	1	4/17	1	2/7
		1	4/17	1	2/7
1.5		9/17	1.5	3/7	

(相贈法 31 3 , 24 2).

1013 ()

同

가

가

가

①

②

404

債權者代位權

가 가

가

(相贈法 20 1).

父 母가

父 母

16).

父 母

가

30

17).

가

가 가

가

5

18).

16) 13-0...2

17) 13-0...1

18) 19-0...1

2 1 , 19 1 ,
 27
 19).
 遺留分(1112) 가
 . 가
 ,
 .
 (1115). 遺留分權 가 ,
 ,
 1/2 , 1/3
 .

第 2 節 離婚 財產分割制度

1. 離婚 財產分割制度 歷史的 變遷

1960 1 1 改正 . 親
 族·相續法(家族法) 1962 , 1977 1989 改正 . 1977 1989
 .
 軌 .
 (憲法 第11條) 同 規定 (憲法 第36
 條) 가 , .
 . 가

19) 46014-299, 1997. 8. 29.

20). 1977

被相續人 同一家籍內
 被相續人 妻 同一家
 籍內 5割 가 ,
 5割 가 .
 共有權

1989 父가 妻가

同順位 ,
 被相續人 同順位 ,
 ()

財產分割請求權

21).

財產分割請求權

22)

가

1950

1960

1961

1977

1989

同順位相續人

均分相續主義가

20) 金疇洙(1994), 韓琫熙(1991).

21) 1950 法典編纂委員會

親族編 要綱 第26項

1989

民法 第829

條 2가

22)

839

2(

)

5割 가 , 同順
位
憲法 第11條 第1項 「

財產分
割請求權 親族編 要綱 26

財產分割請求權

名義信託解止
가 .
가 , 1980 가
妻 가

財產分割請求權 1991
1991.1.1. 23) 家事訴訟法 24)
839 2() ,
가
가

財產分割請求權 2
843 ()

23) 民法中 改正法律 4199 , 1990. 1. 13.
24) 法律 4300 , 1990. 12. 31

財産分割請求權 1

839 2 25).
 , 가 가
 清算
 寄與度(妻 家事勞動)가
 , 扶養
 , 妻가
 忍從 男女平等原則
 가 .
 , 有責主義 破綻
 主義 가 .

2.

(憲法 第11條) (憲法 第36條)
 (4199) 가 (4300)
 1990. 1. 13. 4199 839 2 1
 , 2 1
 가 家庭法院
 , 3 1 2

25) (1991), pp.218~219.

843

1991. 1. 1.

가

(36)

가

妻

가

가

(民法 第839條 2 第1項).

가

가

(同條 第2項). 가

가

,

, 가

가,

,

,

,

,

가

,

,

,

,

,

,

30~50%

가

가

,

,

,

가

26),

가

27),

가

28).

가

29).

,

가

(829)

(830 833)

, 가

가

가

가

가

, ,

26) 1995. 10. 12. 95 175·182 , 1005 3780 .
 27) 1993. 5. 11. 93 6 , 945 1400 .
 28) 1991. 1. 15. 90 446 891 748 .
 29) [31-24...6, [1989. 6. 27. , 88 10183 (854
 1187)]

(, 가)가 ,
가

1990. 1. 13. 가 (4199 , 1991. 1. 1.
)

가 .

가 ,

" " 839 2 2

,

가

,
가 가
가

839 2 2 「.....」

."

가 30),

30) 1995. 10. 12. 95 175 · 182 ; 1993. 5. 11. 93 6 ; 1991. 1. 15. 90 446

839 2() ,

()
가 (30)

(法 第31條 第2項)³¹⁾.

가

顯在化

가 가

가

夫

夫 가

가

3.

839 2 同 843

相贈法 19

(相贈法 31 2).

31) 1998

同

相贈法 31 2 가
 가 5
 (가 1009
 5
 가 가 (相贈法 施行令 第24條).
 30 30
 가

<表 2-4>

< 2-4>

1991.1.1	1994.1.1	1997.1.1
• : 1 +(× 600)	• : 1 +(× 1,200)	• : (가 + 5 가)× - 5 가

가 32).

가 가

32) 46070- 1509, 1993. 5. 29.

< 2-5 >

1991.1.1 ~ 1993.12.31	1994.1.1 ~ 1995.12.31	1996.1.1 ~ 1996.12.31	1997.1.1
1,500 + × 100	3,000 + × 300	5,000 + × 500	5

: 5 .

(

) 33).

相贈法 第31條 第2項(舊 相續稅法 第29條 2)

가

가 , (, 1997.10.30. 96

14)

r

가

가

가

33) 46014-345, 1995. 2. 13.

」 .
， 相贈法 31 2

，
，
，
가
， 가 가 .

가 .

4.

가

34).

가

1 1 , 8

가

35).

가

36).

<表 2-6>

< 2-6>

		(×)	(×)
		(○)	(×)
		(×)	(×)
		(×)	(○)

34) 31-24...6

35) 01254-3250, 1987. 12. 4. ; 1-1-15...4 ① ; 88 10183, 1989. 6. 27.

36) 46014-73, 1995. 2. 21.

第 3 節 現行 配偶者間 財産移轉

課稅制度 問題點

1.

土地 建物 80~90%,
 7~16% 3~6% 不動産
 (<表 2-7>).

<表 2-7> 相續財産 分布現況

(單位 : %)

1990	67	18	10	5
1991	66	13	16	5
1992	77	13	7	3
1993	76	8	11	5
1994	74	8	12	6
1995	75.9	11.3	9.6	3.2
1996	72	12	12	4
1997	69	10	17	4

資料 : 『 』,

가

가

(< 2- 1>).

,

. 1974

가

100

1980

417, 1988

1062, 1992

1883

37).

가

37) . (1993), p.23.

[2-1] 가

- (Haig-Simons)

38).

紙上所得(paper

money)

38) Henry Simons(1950).

가

가

가

死亡 離婚 婚姻解消事由

相贈法

839 2

가

, 相贈法 第31條 第2項

相贈法 第31條 第2項(舊 相續稅法 第29條 2)

가

(, 1997.10.30. 96

14). 「96 14」

2. 既存 論議

「96 14」 相贈法 第31條 第2項
贈與稅 賦課 合當 見解 合當 見解 39).

가. 相贈法 第31條 第2項 贈與稅 賦課 合當 見解

가

가

가 , 가

가 相贈

法(第32條 第2項)

가

39) 崔明根(1992)

가

가
가

가

가
5 ~30

가

()

相贈法

23 1 , 38

59

839 2

가

同

가 가 , 가 40).

相贈法

相贈法 (11 , 23 1 , 38 , 59) .

, 相贈法 同 條項

同 가

(829 , 830).

40) 1995. 10. 12. 95 175 · 182 , 1005 3780

41).

,

가

가

?

· 相贈法 同 條項

가

· 相贈法 第31條 第2項

贈與稅 賦課 合當

見解

41)

8

,

,

相贈法 第31條 第2項 (,
1997.10.30. 96 14), .
, .
가 42).
, .
가 가
가 .
, 가
가
(相贈法 35 4 1)
가 .
, 38 「
」 , 59 「
租稅法律主義 .
가
43). 11 1
租稅平等主義

44).

42) 1995. 10. 12. 95 175 · 182 ; 1993. 5. 11. 93 6 ; 1991. 1. 15. 90 446

43) 1994. 6. 30. , 93 9 ; 1997. 7. 16. , 96 36

가 가

가

가

가

相贈法 同

44) 1995. 6. 29. , 94 39 ; 1996. 8. 29. , 95 41

<表 2- 8> 贈與稅 賦課 合當 見解 合當 見解 要約

合當 見解	合當 見解
<p>1. ● _____</p> <p>2. ,</p> <p>3. 相贈法 가</p>	<p>1. 가 가</p> <p>가 .</p> <p>2. ,</p> <p>.</p>
<p>1. ● _____</p> <p>2. 가 , 相贈法 가</p> <p>3. 가</p> <p>4. 가</p>	<p>3. 가 .</p> <p>4. 가 가</p> <p>가 . 가</p>

3. 視覺 接近

가 , ,

相贈法

가

(5 ~30)

(相贈法 第31條 第2項),

違憲

(, 1997.10.30. 96

14).

違憲

, ()

(前者)

(後者)

後者

顯在化

가

富

가 가

가

80~90%

가

(Haig- Simons)

가

, 가

(妻) 가

가

45) 가 가

가 가

가 (5~30) , 5

, 가 가

, 가

가 가

富 가 가 富

富 가

同

富 . 相續稅 總課稅

件數 控除別 利用頻도가 1992 (<表 2-9>),

基礎控除 100%, 子女控除 85.4% 配偶者控除 70.9% 配偶者控除

45)

配偶者控除額 總課稅價額 12.5%

控除 比率 가

가

<表 2-9> 各種控除 利用率 控除額(1992)

(單位: %)

控除 項目	利用率	控除額(對課稅價格比)
1	100.0	3.9
2	70.9	12.5
3	85.4	2.1
4	17.8	0.28
5	9.4	0.26
6	2.6	0.21
7	48.6	3.6
8	11.2	0.5
9	-	-
10	0.1	0.1

資料：韓國租稅研究院

<表 2-10>

1 GNP

<表 2-10>

1 , 3 2 가 1968

1968

25 5 1990 1131 9 , 1996 2583

2 가 30 가 44.4 , 101.3 가 ,

1 GNP 77.7 , 158.3 가 가

10-20% 가 .

1968 150

가 1991 6 가 ,

1994 1 가 1968 66.6 가 .
 1968 2 50
 1991 2 8 , 1994 4 6 가 560
 920 가 1994
 22.5 1968
 150 3 1 1977 , 1980
 1996 4.6
 가 1968 1991
 4 6 191.7 가 가 1994 6 8 283 가
 가 .
 <表 2-10> < 2-2> 1 GNP
 가 1990
 . 1991 가
 가 1991 가 가가
 가 가
 . 1997 30
 가
 , 富 . <表
 2-11> , 1995 相續稅 總課稅人員 3,464 總決定稅額 8,811
 . 가 46) 1~5 50% 가 .
 가 50 60% 가 . 3%
 60% 가

46) 相續人 相續稅
 (18 5)가
 가 , 가 가 가

[2-2] 年度別 各 控除額 推移

<表 2- 11> 相續財産 課稅現況(1995)

(單位 : 名, 億 , %)

가	1	1~5	5~10	10~50	50	
	377 (10.9)	1,701 (49.1)	647 (18.7)	634 (18.3)	105 (3.0)	3,464 (100%)
	8 (0.1)	458 (5.2)	405 (4.6)	2,664 (30.2)	5,275 (59.9)	8,811 (100%)

資料 :

가 가 가 가
 30 , 가 가
 , 가 가 , 1993
 가 (가)
 가
 13~62% , 世代別 要因
 1 5 ~5
 가 5 ~10 47).
 가
 1993 가 同
 相贈法上 (5 ~30)
 가 .
 相贈法上
 富

47) . (1996), pp.162~178.

憲裁 가
가

가 ,
가 가 가

가

, 富

第 3 章 主要國 配偶者間 財產移轉 課稅制度

第 1 節 主要國 配偶者控除制度

1. 國別 現況

가. 美國⁴⁸⁾

1916	1924	가	, 兩者
稅目		.	· 贈與稅體系
1939	歲入法(Revenue Code)	,	半
1942	歲入法	夫婦獨立財產制	州 夫婦共同財產制
州		持分	,
		.	1948 歲入法
1948	歲入法	가	.
	50%	가	半
		가	.
1976			
		(租稅改革法: The Reform Act of 1976)	.
		(final gift)	, 生
前	가	가	統合移轉稅率

48) NU Law Services National Underwriter

(unified transfer tax rate)

49).

調整遺產總額 50% 25萬

1981 經濟復興稅法(The Economic Recovery Tax Act) 移轉稅(transfer tax)⁵⁰⁾

(unlimited marital deduction)

가

가

가

가 適格國內信託(qualified domestic trust)

가 51).

調整總遺產(純適格遺產 ;

adjusted gross estate)⁵²⁾

聯邦 州政府 死亡稅(death tax

s)⁵³⁾,

25萬 調整遺產總額 50%

法

가

1981 9 12

, 條項 上記日

州가

條項

가

49) 統合移轉稅額控除(unified transfer tax credit) , 1987

統合移轉稅額控除限度 \$192,800 課稅價額 \$60 稅額
相續稅 贈與稅 限度額 未使用殘額 가

50) 相續稅 贈與稅 概念 移轉稅(transfer tax)

51) NU Law Services National Underwriter

52) 調整總遺產 總相續財產價額 各種 控除(葬禮費, 遺產管理費, 負債, 各種 稅金 相
續財產 管理 期間 損失額) 價額

53) 相續稅 聯邦 遺產稅(estate tax), 各 州 相續稅(inheritance tax),
死亡稅(death tax)

. 英國

가 (Estate Tax)가 1894年 1974年
 , ()
 死亡前 7 54)
 生前移轉 1961年 Finance Act 55).
 1975年 가 資産移轉稅(Capital Transfer Tax)가
 가 56)
 資産移轉稅 가
 限界稅率點
 57).
 1986 3 資産移轉稅가 , 同年 4
 (Inheritance Tax)가
 , 58). (spouse exemption)
 ()가 國內
 他方 ()가
 £ 55,000가
 12
 가
 . 獨逸⁵⁹⁾

54) 1894年 1年 1910年 3年 1946年 5年
 贈與 租稅回避 合算期間
 55) Sandford, pp.13- 21.
 56) 1981 10年
 57) 崔明根(1990), p 80.
 58) IBFD(1995), p.565, Steward and Taylor, pp.361- 362.
 59) IBFD, p.181.

1906 獨逸帝國相續稅法 ,

1959 , 60) 1974

改正 .

同一 .

가

1/4 , 3/4 男女 子女 61)

가 增加財產共同制

가 增加財產共同制가

增加財產共同制가

1/4 가 1/2 . 增加

財產共同制 清算債權 夫婦財產共同制 ,

清算債權 . 清算債權額 增加財產共同

制 殘餘財產價額 62).

가

63).

25萬DM가 .

가 25萬DM가 .

增加財產共同制 第1類 課稅對象 子女

60) 相續·贈與稅制度 特徵 財產取得者 被相續人 贈與者
 身分關係 4 範疇 . 第1類 第3類 親族關
 係 가 分類 第4類 親族關係가 . 身分關係
 稅率 人的控除가 相異 .

61) 山田晟, p.166(崔明根(1990), p.118 再引用).

62) 稅法研究所, pp.5- 6 (崔明根(1990), pp.118- 119 再引用).

63) IBFD, p.181.

가 9萬DM , 第4類
3~35%

稅率 20~70%
輕減措置가

. 日本⁶⁴⁾

1950 Shoup使節團

承繼課稅型(accession tax type)

65)

1953

取得課稅型

가

稅制調査會
課稅型⁶⁶⁾

1958

法定相續分 課稅方式

取得

折衷型

가

가

(妻) 同順位

가

第1順位

1/2

1/2

遺留分

1/2

1950 Shoup

配偶者控除制度가

, 價額控

除法

가

가

1/2

. 1958

價額控除法

稅額控除法

1/2

. 1966年 ~ 1974年

. 1968

稅額輕減制度(控除制度)

64) 尾崎三郎・中野秀之 pp.856- 861

65) 崔明根(1990), pp.137- 138.

66) 法定相續分 課稅方式 取得課稅型
續分 數值
衷型

遺產總額, 法定相續人 數, 法定相
遺產課稅型 取得課稅型 折

	가		가	
	配偶者 稅額輕減制度 ⁶⁷⁾		者	
	①	②	金額	
		가		配偶者
稅額 輕減額	68).			
①	가			1億 6
	千萬円	1億 6千萬円.	1億 6千萬円	金
	②	가		
		가		
		가 代償分割		代償財産
		②	가	②
가		(	)	
	其他國			
	69)	33萬	가	4千
		가		
臺灣 ⁷⁰⁾			200萬元(NT\$)	

67) 尾琦三郎, 中野秀之, pp.856- 861

68) 上記 計算式

$$\begin{aligned}
 & \circ \text{法定相續分} \quad 1\text{億 } 6\text{千萬円} \quad \text{金額} \\
 & \circ \text{配偶者} \quad \text{課稅價格} \quad \text{金額} \quad \left. \vphantom{\begin{matrix} \text{金額} \\ \text{金額} \end{matrix}} \right\} \text{金額} \\
 \text{相續稅 總額} & \times \frac{\text{各 相續人 課稅價額 合計額}}{\text{配偶者稅額 輕減額}}
 \end{aligned}$$

69) IBFD, p.163.

70) 韓相國(1995), p.104.

2. 國際比較 示唆點

主要國 <表3- 1>

遺產課稅型 取得課稅型 , , , 前者 , , 後者 . 가

가 取得課稅型 遺產課稅型下

共同相續人 前 效果가 . 가 가

가 가 71)

協議分割 가

가 臺灣

가 1세대 1회 課稅 가

72).

71) 美國 州 遺言 , 配偶者 配偶者 法的持分相續權 被相續人 가 州 財產分配法

72) 가 遺產 . 가

兩 가 .

<表 3-1> 配偶者控除制度 國際 比較

		控除方法	控除額
遺產課稅型	美國	財產價額控除	全額控除
	英國	財產價額控除	全額免除
	臺灣	財產價額控除	200萬元(NT\$)
	韓國	財產價額控除	가 가 (30億). 5億 5億
取得課稅型	獨逸	財產價額控除	一般控除 配偶者分 25萬DM 配偶者特別配慮控除 25萬DM
		財產價額控除 稅額控除	配偶者控除 32萬 4千 稅額控除
	日本	稅額控除	相續稅總額×{(法定相續分 1 億 6千萬円 金額 配偶者 課稅價格 金額 金額) / 各 相續人 課 稅價額 合計額 }

所得水準 가

所得水準

同

獨逸

• 日本

同 控除限度額

가

相續人數

有無,

，相續財産 85~90%가 不動産 가 가
生存配偶者 가 物的基礎 가 ，
가

示唆點

配偶者控除 限度額

全額控除

第 2 節 離婚 財産分割制度

1. 國別 現況⁷³⁾

가 (community
property system) (separate property system) 가
가 가

가. 英國

， 가

73) (1995) (1996)

1870 (Married Women's Property Act)
가 74). 同 가
가 가 夫
가 가 妻
75),
1970 (Matrimonial Proceedings and
Property Act) 1973 (Matrimonial Causes Act)
1969 (Divorce Reform Act),
가 , , 가
가
가
가 가
夫가 妻 3 1
夫 3 1 3 1

74) Stephen M. Cretney, Elements of Family Law, Sweet & Maxwell, p.73, 1987.
, “ ”, , p.308,
1987. (1995)
75) P.M. Bromly, Family Law, 7th ed, Butterworths, p.529~530, 1987. (1995)

,
 , , , , ,
 . 美國
 州 43 가
 Wisconsin, Arizona, California, Idaho州 8 州가
 (Common Law) 가 1970
 가 가 . 州
 (Common Law)州 (Equitable Distribution Rule)⁷⁶⁾ 州
 (Common
 Law)州
 가
 , 가 가
 77),
 (Equitable Distribution Rule)州

76) "Equitable Distribution Rule"
 가 가
 50:50
 (UMDA 307) "equitable distribution"
 (Uniform Marital Property Act, UMPA, 1983)
 (deferred community property)
 77) Mississippi州法
 78) 42 州가

가

가

(Alimony)

(UMPA) 309

79)

가

1979 Orr v. Orr⁸⁰⁾

Brennan

“

Alabama

(Alimony)

”

(Alimony)

獨逸

1958

가

가

79) Samuel H. Hofstadter & Shirley R. Levittan, “Alimony-A Reformulation”, Journal of Family Law, No. 1, 1967, p. 112. (1995)

80) Orr v. Orr 440 U. s. 268, 99 S. ct. 1102, 59 L. Ed. 2d 306(1979) :

Harry D. Krause(1983), op. cit., pp. 485~490 W. Wadlington, Cases and other Materials on Domestic Relations, The Foundation Press, 1984, pp. 1000~1006 (1995)

가
가 81).
, 解消
가 (가) 가 . 가
(Endvermögen)
(Anfangsvermögen) 가 (가) 가
가 2 1 (BGB §
1378). 가 가
가 가
, 가
가 가 가 가
가 가
, 가
가 가
82).
1977 1
가
83).
1570

81) 가 , 가 가
(BGB § 1365, § 1369 1).
82) 1569 ~1586 b.
83) 韓瑋熙(1991), p.41

. 日本

1947 “ 가 (762 1)”
768

. 768

1 “
” , 2 “ 가 ”
3 “2 가 가
” ,

1878

1897 舊民法

1947

가 . 1

가

768 1

가 가 , 가 (가
15 2), (가 56 52 2),

가 가

가

(15 5) 가 가
(15 9).

.

1965
1976
(Compensatory Payment) (270). 1985
夫
(1421 1
)84).

가 . (1428)

(retire)
(1429).
가
(1401) 가
(1409)
, 가 85),
가
2 1 (1475 1).
. 50:50
86),
(270).

84) (1978), p.20~23.
85) (1988), p.78~81.
86) (1984), p.259.

50:50

가

가

가

가

가

1/3 夫

1/3 妻

50:50

가

州

50:50

50:50

가

<表 3-2 >

가

가		
		妻 1/3 夫
	43 州가 8 州가 1970 가	州 : , 州
	가	가 50:50
		半分
		가 半分

第 4 章 配偶者間 財產移轉時 合理的 課稅方案

第 1 節 共有財產 1/2 超過 金額

贈與財產 推定課稅

夫婦財產

贈與財產 推定課稅	夫婦財產
30~50%	(民友會)
50%	
章 가	가
가	1/3 夫
1/3 妻	가 50:50
	州 50:50
	50:50

가 . , 同 財産 1/2
 ,
 가 案
 .
 1/2 案
 가 . 1/2
 ,
 가 , 100
 (夫) 40 , (婦) 60 가 .

[4-1]

夫婦 60
 , 가 가 20
 20 가
 100 1/2 50 10(=60-50) 10

20 가 (50)

10 .

相續稅 基本通達 案

. 相續稅 基本通達(9-8)

가

, . 同
基本通達 ,

가

本稿 案 . 推定

. 民法

가 推定 , 反

가 推定制度 .

. 가 가

가 ,

가
推定制度

. 推定 가

, 實質課稅 原則

1/2

. 가 同 .

2-1

가 . 가 .
가 同

가 . d , i
가 W_i^t .
가 i 가 W_i^s , i t
, i $t_i(W_i^t - W_i^s)$ 가 .
 T_b

$$T_b = \sum_{i=1}^d t_i (W_i^t - W_i^s) \dots\dots\dots(1)$$

가 .

2-1

가 가
가 .
가 가 .
가 가 가
가 가
(1) W_i^s .
(1) i 가
1

가

가

가

2-2

2-2 :

案

가

가 가

가

가

가

가

가

가

W_s

$$W^s = L_t + \sum_{i=1}^d \bar{S}_i \cdot w_i^s \quad \text{where} \quad w_i^s = \frac{W_i^s}{W_i^t} = \frac{W_i^s}{W_i^h + W_i^s} \dots\dots\dots(2)$$

L_t

87). d

, $\bar{S}_i$

i

87)

w_i^s 가 i 가 W_i^t 가 W_i^s 가
 W_i^s 가 2 가 W_i^t 가 W_i^s 가
 W_i^h 가 i 가

(2) 2 ,

$\bar{S}_i$ 가 i 가
 w_i^s 가 i 가
 $\bar{S}_i$ 가 i 가

2-2

2-2

Lt

2 가
 i

$\bar{S}_i w_i^s \leq \bar{S}_i$ ($0 \leq w_i^s \leq 1$).

()

가

(2)

2

()

가

2-2

가

t 2-2 Tc i

$$T_c = t(W^t - W^s) \dots\dots\dots(3)$$

$$= t \left[W^t - (L_t + \sum_{i=1}^d \overline{S}_i w_i^s) \right]$$

Wt 가 2-1 가

() 가 가

가 2-2 Lt 가

가 가 가

가
 ($L_{t=5}$) 5
 가
 가 W_t
 10

<表 4-1>

	1	2	3	4	5	
$(\bar{S}_i)$ ()	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400	
(w_i^s)	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	
$\bar{S}_i w_i^s$ ()	800	840	1,100	1,150	1,200	5,090

< 1>

5,090

$$(L_t + \sum_{i=1}^d \bar{S}_i W_i^s) \quad 5 \quad 5,090$$

T_c

$$T_c = t(10 - 5 \quad 5,090)$$

$$= t \cdot 4 \quad 4,910$$

第 5 章 結 論

· 本稿 相贈法 第31條 第2項 民法 第839條 2 1

相贈法 가
(5 ~30)

違憲 88).

同 ()

가

) 가 가

, 富

富

富

가

가

, 富

가

30~50%

(民友會) 50%
50:50

가

1/2

案(1)

1/2

案

同案

案

2 案

2-1

案 , 2-2

案

가

3 案

1

2-2

가

案

1

2-2

가

案

參 考 文 獻

- ，『
』，
，1996
- ，「
」，『
』 55 ，1984.
- 金疇洙，『親族・相續法』，法文社，1994.
- ，「
」，『
』， 22 ，
，1991.
- 金哲洙，『憲法學概論』，博英社，1998.
- ，『
』，
，1996.
- ，『
가
가』，
，1995
- ，『
』，
，1996.
- 李相潤，『英美法』，博英社，1997.
- ，
，『
가
』，
，1993.
- ，『
』，
，1988.
- 崔 洸，『男女平等 夫婦財產權 確立 稅制面 補完方案』，政務長官 第2室，
1993.
- 崔明根，『
』，
，1990.
- ，「離婚時 財產分割請求權 課稅問題 小考」，
3 ，
1992. 6.
- ，「1976
()」，『
』，1978.
- ，『
가
』，
，1991.
- 韓相國・裴俊皓 『相續・贈與稅制 合理化 方案』，韓國租稅研究院，1996.
- 韓相國，『臺灣 財政 租稅制度』，韓國租稅研究院，1995.
- ，『
』 22 ，1991.
- ，『
』，
.
- ，『
LX』 CD-ROM Title, 1998.
- ()，「
」，
.
- ，『
』，
.
- 國稅廳，『國稅統計年譜』，
.

, 『가』,
統計廳, 『人口動態年譜』, 1995.
, 『』,
, 『』, 1998. 11.
, 『』 50』, 1, 1997.
稅法研究所, 「西ドイツ相續稅法の邦譯」, 『稅法學』, 1984.
大藏省, 『財政金融統計月報』, 1996.4.
Bittker, B. I. and E. Clark, eds. *Federal Estate and Gift Taxation*, 5th ed. Little,
Brown and Company Boston, 1984.
Henry Simons, *Federal Tax Reform*, Univ. of Chicago Press, Chicago, 1950
IBFD, *European Tax Handbook 1995*, Juhani Kesti, LL.M. ed, IBFD Publications,
1995
NU Law Services National Underwriter.

<國文要約>

配偶者間 財産移轉

課稅方案

韓 相 國

1997 憲法裁判所

가

違憲

가

가

富

1

2

1

案

2

1

2

案
案

案

案

2

2-1

案 , 2-2

案

3

案

1

, 2-2

가

案

<abstract>

Taxation of Property Transfers Between Spouses

Han, Sang Kook

In 1997, the constitutional court of Korea ruled the imposition of taxes on the transfer of property in excess of the allowed legal inheritance proportion, in the case of division of property during a divorce, to be unconstitutional. However, when one looks at the issue of transfer of property from an economic, tax or social policy point of view, the outcome may be quite different from the decision given by the constitutional court. One cannot overlook the fact that the exemption of gift tax on the excess amount of a spouse's contribution goes against the principles of equity, fairness and distribution of wealth.

From the point of view of equity, fairness and distribution of wealth, this study points out the problems of. and provides new rational tax measures for the present inheritance and gift tax in the case of property transfers between spouses with respect to the decision reached by the constitutional court. The first measure suggests imposing gift taxation on the transfer of property in excess of half of the joint property in the case of divorce. However, if one proves that his/her contribution proportion far exceeds half of the joint property, then that amount would be excluded from the taxable portion.

The second measure suggests taxing amounts in excess of a spouse's

contribution to joint property according to the years of marriage. This measure can be subdivided into two methods as follows. One method is to tax transferred property in excess of a spouse's contribution, which is reflected by the years of marriage. The second method also suggests taxing transferred property in excess of a spouse's contribution; however, the method of computing the spouse's contribution would include social factors as well as years of marriage.

Of the above measures, the first measure and the second method of the second measure are more rational and feasible. The first measure only deals with the property of a spouse's contribution amount during the actual marriage, which is relatively easy to assess. The second method's assessment of a spouse's contribution is accurate, and also guarantees a minimum standard of living for the spouse transferring property, by adopting the concept of following basic deduction rules for the spouse.